第24回看護系同窓会定例総会報告書

報告日 2024年7月吉日 所属 東京女子医科大学看護系同窓会

	題名	第24回東京女子医科大学看護系同窓会定例総会
	実施日	2024年6月29日 場所 看護専門学校大講堂・3教室
	目的	本会第8期キャッチ「みえる・つながる・ひろがる」をテーマに、足立医療センター災害チームの協力を得て、足立医療センター病院の特色PR、災害医療への関心の向上、有事に動ける人材育成と確保の一助となること、そして、学生会員の同窓会認知・関心度の向上を目的とした
概要	内容	1) 10:30~11:30 施設見学ツアー (ヘリポート・5階ユニット・救命ICU) 2) 12:30~13:20 第24回定例総会 審議表決結果報告
		3) 13:40~14:20 災害企画 [特別講演・活動報告3台・トリアージ演習]
	主催	東京女子医科大学看護系同窓会
	協力	・附属足立医療センター災害チーム,看護部,情報システム課
)JII) / J	・看護専門学校1年と3年生,看護学部救急☆レンジャー部員
	来場人数	総数210名
	費用概算	予算 60万 経費概算 45万

■施設見学ツアー

看護学部名誉教授の尾岸恵三子先生(82歳)、元教員の中重先生(94歳), 大河原先生(90歳)の諸 先生方、本学病院を退職された方々などの同窓生が参加した。附属足立医療センターの最新設 備、災害訓練、自然光が入る職場で働スタッフが、粛々と穏やかにされている姿に、安堵し、 感激され、チームの連帯を感じたと、とても好評であった。

■第24回総会

事前表決とし、当日は結果の報告のみとした 開催形式:対面・オンライン・後日録画配信予定

■第二部_足立医療センター災害チーム協力企画

特別講演 庄古 知久教授 「区東北部の防災・災害対策」

赤池 麻奈美「東京DMATの活動」 ※DMAT活動ベテラン者の報告 災害チーム活動報告

※海外での体験 恵「トルコ大地震での活動」 岩崎

真紀「能登半島地震での活動」※初めての災害派遣体験 渡辺

演習:司会進行 中村邦子(看護系同窓会理事) 講義 斎藤 静香「誰でもできるトリアージ」 学生参加型演習

■学生のみアンケート実施(締め切り7/8) 回答127名(140名),回答率90%

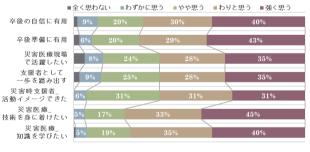
◆振り返りによる事前評価

- ・災害医療への関心ある学生 66%
- ·同窓会認知度 50%

■全くなかった ■わずかにあった ■ややあった ■わりとあった ■非常にあった 看護系同窓会 15% 25% 22% 28% 12% 19% 29% 37% 20% 40% 60% 80% 100%

◆関心のあった内容 「区東北部の防災・災害対策」庄古 知久先生 「東京DMATの活動」赤池麻奈美さん 68% 「トルコ大地震での活動」岩﨑 恵さん 「能登半島地震での活動」渡辺 真紀さん 52% 「誰でもできるトリアージ法の習得」斎藤 静香さん 64% 「トリアージ法の演習」 63% ◆総会参加後

知識・技術を身に着けたい 支援者側のイメージ 60% 研修の有用度 70%



結果

内容

- 210名 (目標220名、達成率95%) 〇総来場者
- 〇施設見学ツアー 17名(目標 15名、達成率113%)
- 〇総会 48名 (目標 50名、達成率96%) ※委任状・表決登録率22.2%↑ (前年度19.8%)
- 204名(目標200名、達成率102%)※学生140名参加 〇第二部企画

学部生救急レンジャー部員と看護専門学校生の交流、看護専門学校1年生と3年生の交流、 レジェんと参加者との交流ができ、災害医療の知識・技術を身に着けたいとの動機も高まり、 チームワークの大切さ、現場のシミュレーションなど多くのことを学ぶきっかけづくりには なったと思います。これから途切れずに繋がれるように、活動を続けていく所存です。 有事に動ける人は平時でも役立つ一人として成長していくと考えています。本会の役員の多く が救急医療に携わっている経験者が多く、今期の役員の特色を生かした企画となった。

報告事項

所感